

活動報告

女子駅伝大会参加記念品
ピープルファースト京都
命輝け第九コンサートの会
白百合会
SON 京都
せいらん福祉会



活動報告

皇后盃第 38 全国都道府県対抗女子駅伝大会参加記念品

京都北ライオンズクラブ
事業委員長 谷口 忠武

当クラブは1993年より皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会の参加記念品を寄贈しています。

昨年度より社会福祉法人白百合会、NPO法人せいらん福祉会と共にトートバッグを制作しており、今年度も、白百合会の皆さんが一針一針丁寧に京都府・市の花である桜の手刺繍を施し、せいらん福祉会の皆さんが縫製を行い、当クラブメンバーが例会等で包装し、9ヶ月をかけて1100枚が完成、大会事務局に寄贈しました。

この記念品は全国から集まる駅伝選手並びに関係者の方々に贈られます。

制作に当たった皆さんは自分達の作った物が全国に持ち帰られるということ誇りに思い、心を込めて製作に励んでくれました。我々も全国に「ふれあいの心」をお届け出来ることを大変嬉しく思います。

そして、もう白百合会さんでは来年度用のトートバッグの刺繍の試作を始めておられます。どんなトートバッグに仕上がるのか今から楽しみにしています。



ぴーぶるふぁーすときょうと ピープルファースト京都

ピープルファースト京都
永井 良和

「メンバーの話し合いの記録から」

<メンバーにとって、ピープルファースト活動って？>

- 支援者) ピーブルファーストってどういうことを目的としているのかな？
- A) 最初、僕はピープルって言ったらおもちゃメーカーの名前かなと思っていた。今は知的障害やダウン症の人の運動と思っている。
- 支援者) どういうことが目的だと思う？
- A) わからん。
- 支援者) とりあえずピープルファーストジャパンの人は、目的があると思ってて、活動をしているやろ。
- A) 差別、虐待？
- 支援者) 知的障害者に対する差別をなくす運動。
- A) たとえばインクルーシブ教育の問題。
- 支援者) インクルーシブ教育の運動の理由は？できるだけ一緒に場所の方がいいということの理由。
- A) ……
- 支援者) 差別をなくすためには、まったくお互いに知らなかったら差別したりするから、ずっと一緒に関わったり、勉強したりした方が理解ができるから、差別が減るんじゃないか？ということだったよね。
- B) いちばん思い出すのは、やまゆり園の事件のような大きい事件をなくすための運動かな。いろいろな事件がおきているけれどもなあ。
- C) 僕らの集まりというのは、そういうやまゆり園とかそういう話をする場でもあるけど、他に考えられる場所でもあるんじゃないかなと。
- 支援者) 何を考える場所？
- C) 何をしたいか？とか、やまゆりの事件とか、じっくり考えられる場？そういう話をできる場所でもある。
- 支援者) AくんやBくんが「〇〇かなあ」とかいうふうに自信がないのはなんで？
自分の中でははっきりしたことはないの？
- A) 知的障害者がなんで差別されるのか？やまゆり園の事件もそうやし、なんで知的障害者が虐待うけるのかな？と思う。ほんまは施設の職員はやったらあかんけど、弱い障害者とかに、虐待や殺人をやってしまうのかな、と思う。
- 支援者) なんでそんなことが起きるのかな？という疑問があるんか。ピンとこないのか。
- A) うん。僕なんか、お姉ちゃんが結婚する時に、僕は障害者やからお姉ちゃんが僕ははじめられると思っていた。むこうの親がお姉ちゃんに対する差別をするかな？と思っていた。
- 支援者) 当然、結婚相手は差別するだろう、と思ってたってことやな。そしたら逆に、そういう差別がなかったらいいなあというのは、ジャパンの人たちと同じ気持ちなんやな。Bくんは、Aくんの気持ちを聞いて、どう思った？
- B) なんでこんなことするのかな？と思うこともあるけど、あんまり思わないこともあるからな。
あんまり深く思わへん。
- 支援者) Aくんは差別をなんでするんやろ？と思ったけど、お姉さんの結婚式では差別はあるだろうと思った。それはわかる？
- B) 僕のところの妹も結婚しはったんやけど、だんなさんも僕のことを見てはるし、妹もそういう人と結婚して良かったなと思った。
- 支援者) 普通の人は差別すると思うか、思わないのか、どっち？
- B) 僕は小さいころから妹の友達と遊んだりしていたから、そんなに思ったことないわ。
- 支援者) じゃあ逆に、ピープルジャパンが運動していることもピンとこないの？
- B) 施設とかするからそうなると思う。よっぽど重い人は入るかもしれないけど、地域で暮らせる方がいい。早く地

いきいこう 地域移行になったらいいなと思う。

支援者) そこが一番ピンとくるのか。

B) 僕なんか親元が嫌やったからな。親元やのに嫌って思ってるし、施設でも嫌だと思う。自分の好きなこともできひんし。やっぱり自分の自由にできる方がいいし。

支援者) Bくんは差別をなくすことよりも、施設で暮らすのが嫌だろうなということピンとくるみたい

支援者) Cくんはどうですか？

C) 僕はやっぱり前にも言ったけど、やっぱり今までやったら、親が一人亡くなったので、こんな話すことはなかったんですけど、前までやったら母親が全部、なにからなにまで。そのルールを生きてきたので、外れて、今でもそのルールはあるんですけど、いっかい、どこで仕事するのか、とか決めてきたので、今でもそうですけど、土曜になにがしたい？と言われても、「うーん」となってるので、映画みにいきたいとかカラオケいきたいとか、なかったのですが、親が全部、大学にしても大阪のときからルールをやってきたので、なんでも親が喋る人だったので、僕はだまってる人生が多かったのですが、入る隙間がなかったので、僕に聞いてるんですけど、母親が全部で「口出さないで」と言われたので、どこ行く？と聞かれても自分で決められないというか、マクドナルドに行くとか、土曜に好きなように言っていてといわれても、考えがまとまらなくて、やりたいことがいっぱいあって、今日はこれにしようとか決められたらいいのですが、なかなか決められなくて、ヘルパーさんにもなんでも決めてと言われるのですが、そこができてないですね。

支援者) いい話でした。障害があっても自由に生きられるようになりたい、ということ

支援者) ピープルファーストの運動も、自由に生きたいという活動に一番ピンとくるということだね。

支援者) Cくんあれですね。自分で作ったルールの上を歩き始めようとしているね。



命輝け第九コンサートの会

ジュスカ・グランペールコンサートを終えて

令和2年1月19日 午後2時～4時 於堀川音楽高校ホール

主催 NPO法人命輝け第九コンサートの会
理事長 久馬 正義

第14回命輝け京都第九コンサートの日程が決まりました。2020年12月20日(日)京都コンサートホール大ホールにて開催されます。ハンディのある人もない人も一緒に歌うベートーベンの「第九」を通して共生できる社会作りの為に活動していますが、その活動に賛同して頂きましたジュスカ・グランペール(京都発の日本の2人組インストゥルメンタルユニット・バイオリンとギターの演奏)によるコンサートが令和2年1月19日(日)堀川音楽高校ホールで開催されました。約200人のお客様が来られましたが京都北ライオンズクラブの方々に誘導係のボランティアをして頂きました。又、スペシャルオリンピックス京都からもたくさんの方がお越しになりました。本当にありがとうございました。

ジュスカ・グランペールコンサートの演目に「第九」をアレンジした演奏もあり命の第九の団員も大変喜んでいました。いつもなら演奏途中で声を出したりする方も落ち着いて最後まで聞き入っていました。アンコールでは特別に命の第九の団員のカホン演奏のコラボもあり大変盛り上がりました。お見送りの際「今日は楽しいコンサートありがとうございました。」と満足そうにおっしゃる笑顔のお客様が印象的でした。

今年はベートーベン生誕250年そして東京オリンピックパラリンピック(NPO法人命輝け第九コンサートの会も認証されています)の記念の年です。一緒に「命の第九」に参加して頂けると幸いです。





社会福祉法人 白百合会

リ・ブラン京都 中京・西京の活動の報告

社会福祉法人 白百合会
理事 楠 りつこ

クリスマス会の様子

クリスマス会はホテルを会場に毎年2施設合同で行っています。今年もそれぞれの施設で出し物を披露しました。

(中京)



(利用者さんのコメント：) (西京)

Iさん：ピンクレディーのUFOとSOSをやって
ちょっとはずかしかったです。

Hさん：ベストドレッサー賞をもらってお母さん
が喜んでくれました。



忘年会の様子 (中京)

リ・ブラン京都中京では初めての忘年会を行いました。いただいたお菓子やたくさんのごちそうがテーブルに並びました。

(利用者さんのコメント：)

Tさん：思うように食べられてうれしかった。

Uさん：ダーツで1位になりました。



セカンドテーブルの様子 (中京)

子どもの城セカンドテーブルでもクリスマス会を行いました。先生のギター演奏でクリスマスソングを歌ってから食事をいただきました。アニメ上映やゲームで盛り上がりました。



スペシャルオリンピックス日本(SON)京都

NPOスペシャルオリンピックス日本・京都
理事 小西 布巳江

オリンピックイヤーが明けました。皆が、競技者の活躍を胸躍らせて待ち望んでいることと思います。

SONでは「2020年第7回冬季ナショナルゲーム・北海道」が2月21日～23日までの3日間、札幌市、岩見沢市、北広島等の宿舎から、真駒内セキスイハイムアリーナや飛鳥山公園、北海道教育大学の会場で、37団体(地区) 954名の選手団のもと、7つの競技で開催されます。SON・京都からは、フィギュアスケート・ショートトラック・スピードスケート(個人)・フロアホッケー(団体と個人スキル)で、団長、副団長、コーチ、アスリート総勢27名の選手団で参加します。

日頃の練習の成果が、そのまま発揮できたら、うれしい限りです。

<次ページへ続く>

5ページ 光新聞2017年8月12日(土)第103号



手紙と電話

作: 宣光

皆さん手紙と電話ならどちらが得意ですか。紙に文章を書くと口で直接話すか。今だと多分手紙では無くメールだと思います。メールと電話。正直に僕は手紙の方が得意です。直接話せたい。手紙の方が自分の気持ちを表現する方が好きです。電話は嫌いな言葉ばかりで、色んな人と出会うのは楽しいです。ただ、自分の今の気持ちを表現する方が好きです。電話は嫌いな言葉ばかりで、色んな人と出会うのは楽しいです。ただ、自分の今の気持ちを表現する方が好きです。

ココだけの話

「光新聞」百号記念「ココだけの話」第2回目は、今回は「光新聞」として自分についてです。この新聞を作り始めたのは、2010年の9月でした。その時は、仕事以外に何か楽しい事がしたい、このままでは嫌いなことを減らしたい、と言った気持ちで、作り始めて、正解でした。この新聞作りのおかげで、色んな人と出会えました。嬉しい事があります。6Pへ続く。

次号では、大会の結果報告が出来ることでしょう。

今号では、もう1つ紹介したいことがあります。

1人のアスリートが、長年にわたり、コツコツと自分を見つめ、感じたことを「光新聞」と名付けて発行を積み重ねてきた、ほんの2ページです。(ご本人やご家族の方には了承を得ています。)

制作者 古井 宣光 (ふるい のぶみつ) さん 29歳

高等部を卒業して11年目になります。お仕事は滋賀県石山にある東レの社員食堂で、調理器具の洗浄や、お掃除を担当しています。宣光くんは、SON・京都の中では、水泳プログラムに参加し、他にダンスも月2回楽しんでます。

「光新聞」も昨年末で117号の発行となりました。唯々感動するばかりです。その内の103号5~6ページをぜひみなで聞いて(読んで)下さい。

※ 皆様新聞報道などでご存知のことと思いますが、「2020年第7回冬季ナショナルゲーム・北海道」は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止となりました。致し方ない事情とはいえ、この日のためにトレーニングを重ねてきたアスリートの方々の無念さを思うと残念でなりません。

記事の投稿が大会開催前でした為、追記という形で中止のご報告をさせていただきます。

光新聞2017年8月12日(土)第103号 6ページ

ここだけの話

5Pの続き。	ただごもし	本当に作って	いなか。たら	ここまで自分は	色々な漢字を	知ってる訳が	ありません	僕は漢字	か本当に苦	手で、今で	も小学生ぐ	らいで習う	字でも間違	たら嫌なの	で書いて	書日いてる時	かあります。	他には僕
こんな	きれいな字は	書いてません	でした。	この新聞作	リのおかげ	で書けるよう	になったので	す。	本当にです。	びっくりする	かもしれま	せん。	女リかこの	気持ちで	いっぱいです。			

今の気持ち

今の気持	ちを大切に	して下さい。	また後で	と思っ	たら一生	もうやっ	二ないかも	しれません。	それにま
た気持ち	か変わ	しま	思い出	くても思	出せない	かもしれ	せん。	なので自	の思いや
気持ちは	隠さず	口に出	みんな仲	良くし	ほしい	下手でも	と伝あり	大丈夫	ゆっくり

最近の出来事

広島原爆の事は2ページ目に書きましたか長崎の事は書いてませんでした。

72年前の8月9日午前11時2分長崎にも原爆が投下されたのです。

本当に悲しいです。

もう色々対戦争は起きてほしく無いです。

ワークハウス せいらん福祉会

NPO法人せいらん福祉会

加藤 太一

今回は「障害者本人の声・意見」をとの事でしたがワークハウスせいらんはそもそも会話の成り立たない重度の方が多くおられますので今回はエピソードや笑えるお話を原稿にさせていただきます。

せいらんでは新年会に毎年「オリンピア」と言う梅田のバイキングレストランに阪急で行っています。本当にみんな大好きでだいたい前から「オリンピア」に行くために仕事を頑張ろうというのが合い言葉みたいになっています。13:30から90分間のランチタイムは常日頃、これ食べたらかかん、これを食べるときなさいと、言われ続けておられる利用者が多いので自分の好きな物を楽しめる「オリンピア」はみんなにとって至福の時間なんです。



「オリンピア」に行くことが楽しみで、最近は作業も頑張って「仕事頑張ったからオリンピアに行けるね〜」が最近の決まりのセリフやったYさん。ところが当日、お母さんの勘違いでお弁当を持参してしまいました。普通ならお弁当は手を付けず家に持って帰って食べましようになるのですが、Yさんの中で何かスイッチが入ったのか、食べてから行くと言きません・・・。「オリンピア」に行ったら好きな物がいっぱいあるから食べるときと言っても聞きません。そのうち勝手に食べてしまいました。しかも大盛りのビビンバです。当然お腹は一杯です、で「オリンピア」に到着、周囲はテンションマックスの中、担当

の職員が取りに行こうといっても行きません。しばらくしてからデザートを取りに行きましたが少し食べて終了です。どうやら本人は店の前に来て初めて「オリンピア」がどういう店か思い出した感じです。ということは今まで「オリンピア」に行くからと頑張っていたのはいったい何だったのでしょうか・・・？

同じく「オリンピア」の裏話です。だいたい高齢の男性利用者Nさんいつもニコニコと作業を頑張ってくれています。施設の近くに住んでいるので普段は徒歩か市バスの利用での移動が多いので「オリンピア」に行くのに阪急に乗れるのが楽しみな様子です。私にしきりに「梅田まで阪急で行くんやなあ」と聞いてきます。当日、桂駅から乗車して「オリンピア」へGOです。最初はいろいろと仲間や職員と喋ったりと久しぶりの阪急を楽しんでましたが、だんだんと眠気がきたのかウトウトし始めて、梅田につくまで熟睡です。着いたので起こして「オリンピア」へ、みんなそれぞれ好きな物を取って食べている中ふと見るとNさんが何も手を付けずに皿にたくさん載せてますが口をつけていません、近くまで行って様子を見ると寝ています!! Nさん時間制限があるから寝てたらあかんとやうと、やっと食べ始めましたがしばらくするとまた寝ています。どうやら食い気より眠気のほうが強かったようです。

人それぞれいろいろな楽しみ方がありますが、元を取らなあかんとか美味しいもんだけ食べようとか言いながら食べる方が多い中、さすがワークハウスせいらんの人たちはどこに行ってもマイペースで個性的です。

